

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 卷第 47 号

第 47 週(11月19日～11月25日)

発行年月日:平成19年(2007年)11月30日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

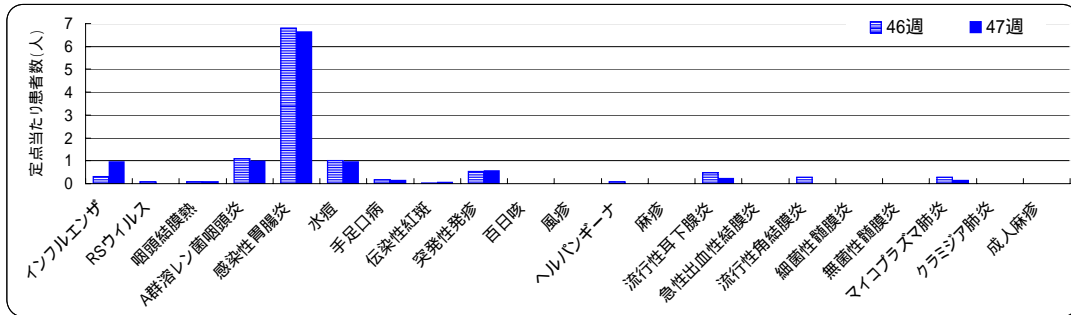
今週の感染症発生動向

インフルエンザの発生は増加傾向

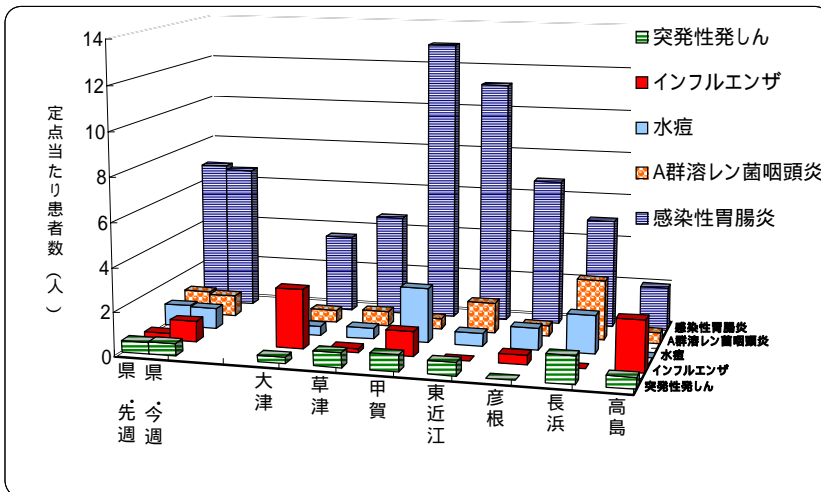
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数とほぼ同じです。今週増加した疾患はインフルエンザ、伝染性紅斑(リンゴ病)および突発性発しんで、その他の疾患は減少または横ばいとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名および五類感染症の後天性免疫不全症候群で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



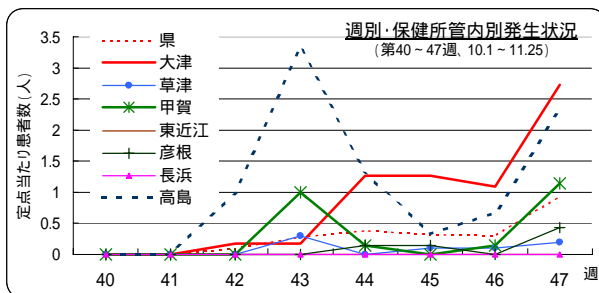
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第47週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、水痘およびインフルエンザ、突発性発しんの順に多くなっています。

感染性胃腸炎は、先週に引き続き甲賀および東近江で多くなっています。また、インフルエンザは大津、甲賀および高島で急増しています。

インフルエンザの保健所管内別発生状況(第40～47週、10.1～11.25)



第40～47週における保健所管内別発生状況はグラフに示すとおりで、大津では増加傾向が持続しています。高島では第46週以降再び増加傾向を示し、他の保健所管内においても増加しています。また、第47週の県全体の定点当たり患者数は0.94で、昨年同時期の0.06より非常に多くなっています。

全国における第47週の定点当たり患者数は1.53で、昨年同時期の定点当たり患者数0.06より非常に多くなっています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (47週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (47週)	全国 (47週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	0	159	17,016	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	12	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	427	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	1	54	4,428	54	3,910
	パラチフス	0	1	18	0	24
四類感染症	E型肝炎	0	1	50	2	70
	A型肝炎	0	1	138	21	316
	デング熱	0	1	82	0	57
	マラリア	0	1	48	0	61
	レジオネラ症	0	7	584	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	13	695	8	738
	ウイルス性肝炎	0	2	211	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4	126	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	88	6	107
	後天性免疫不全症候群	1	9	1,302	8	1,301
	ジアルジア症	0	1	48	1	87
	梅毒	0	2	638	4	625
	破傷風	0	0	85	1	115
	急性脳炎	0	2	202	1	160

*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第47週(11/19～11/25) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: 日本紅斑熱 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 9例
二類感染症: 結核 267例	Q熱 1例	劇症型溶血性
三類感染症: 細菌性赤痢 4例	つつが虫病 24例	レンサ球菌感染症 1例
腸管出血性	レジオネラ症 8例	バンコマイシン耐性
大腸菌感染症 67例	五類感染症: アメーバ赤痢 5例	腸球菌感染症 2例
四類感染症: A型肝炎 2例	梅毒 4例	急性脳炎 3例
オウム病 1例	ウイルス性肝炎 1例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第42～47週、10/8～11/18)

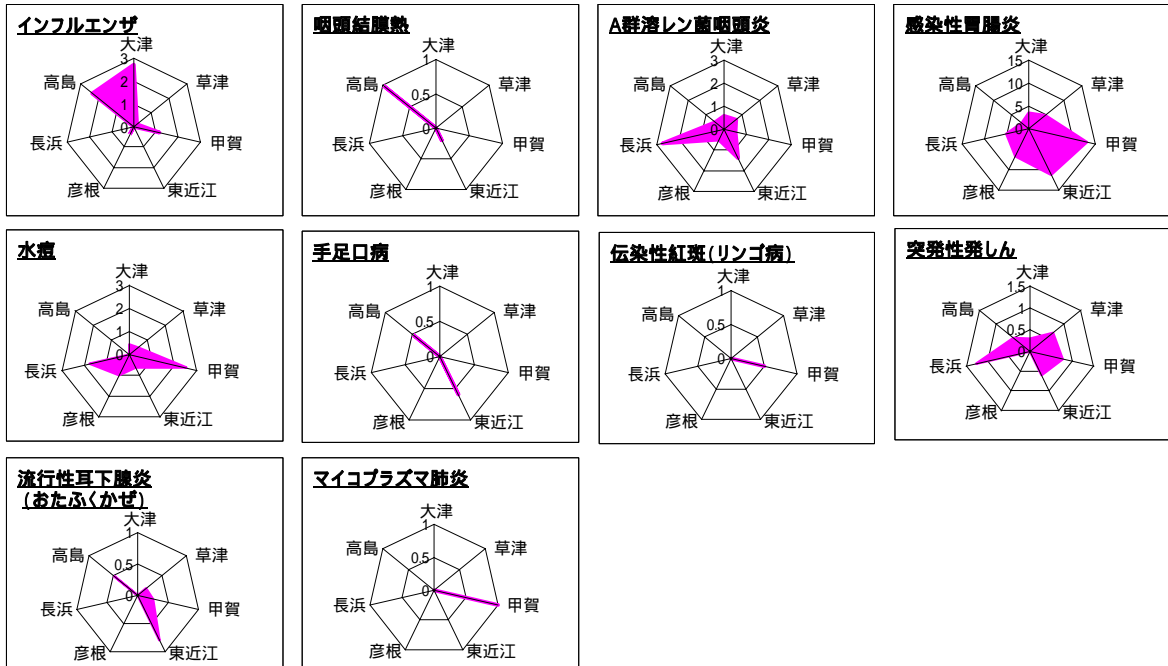
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	42週	43週	44週	45週	46週	47週	週
	(10/15～)	(10/22～)	(10/29～)	(11/5～)	(11/12～)	(11/19～)	43 44 45 46 47
インフルエンザ	0.09	0.28	0.38	0.32	0.30	0.94	
RSウイルス感染症	0.06	0.03	0	0	0.09	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.06	0.16	0.19	0.09	0.09	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0.56	0.72	0.78	1.09	0.97	
感染性胃腸炎	4.63	4.31	3.19	4.47	6.81	6.63	
水痘	0.09	0.72	0.63	0.78	1.00	0.94	
手足口病	0.22	0	0.22	0.22	0.16	0.13	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.13	0.06	0.03	0	0.03	0.06	
突発性発疹	0.47	0.28	0.53	0.41	0.53	0.56	
百日咳	0.06	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.09	0.19	0.16	0	0.09	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.22	0.19	0.44	0.34	0.47	0.22	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.71	0	0.43	0.86	0.29	0	
細菌性髄膜炎	0	0.29	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0.14	0	0.29	0.14	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0.14	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第47週, 11/19~11/25)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.94	2.73	0.20	1.14	0	0.43	0	2.33	■
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0	0	0	0.20	0	0	1.00	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.97	0.57	0.67	0.50	1.40	0.50	2.75	0.50	■
感染性胃腸炎	6.63	3.57	4.67	13.00	11.20	6.75	5.00	2.00	■
水痘	0.94	0.43	0.50	2.50	0.60	1.00	1.75	0	■
手足口病	0.13	0	0	0	0.60	0	0	0.50	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0.50	0	0	0	0	
突発性発しん	0.56	0.29	0.67	0.75	0.60	0	1.25	0.50	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.22	0	0.17	0.25	0.80	0	0	0.50	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 1 2 3 4 5 6 7
 定点当たり患者数(人)

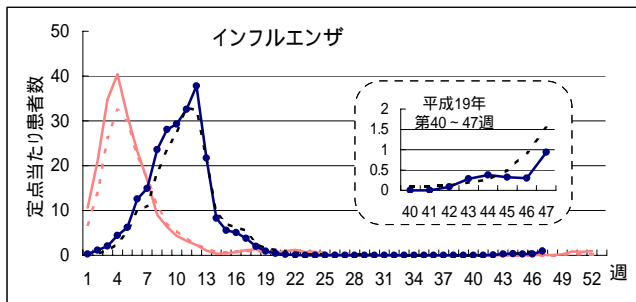
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

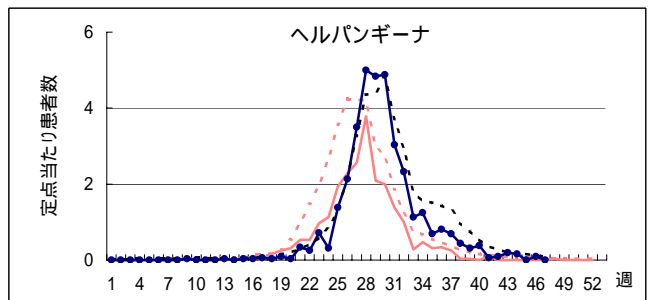
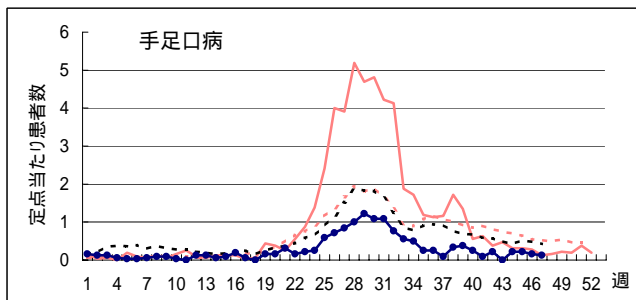
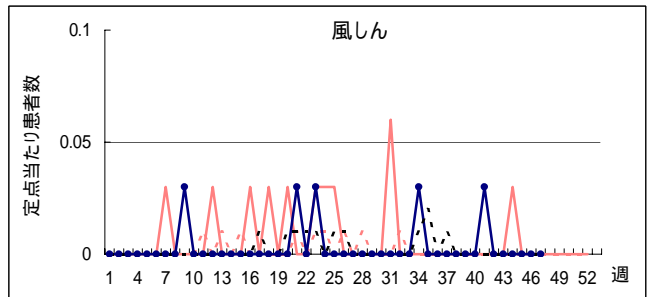
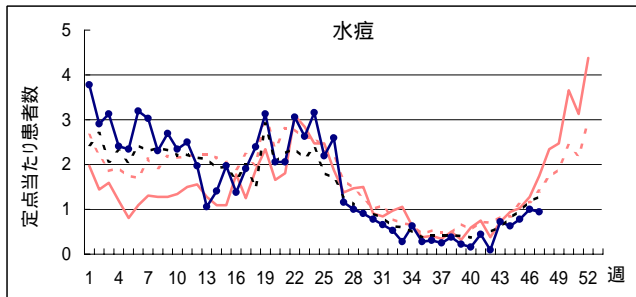
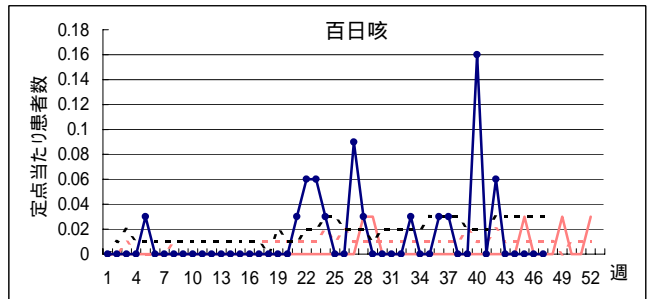
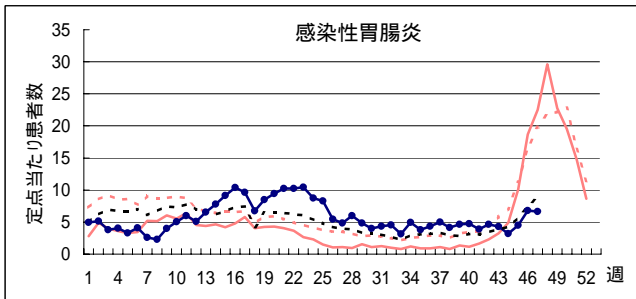
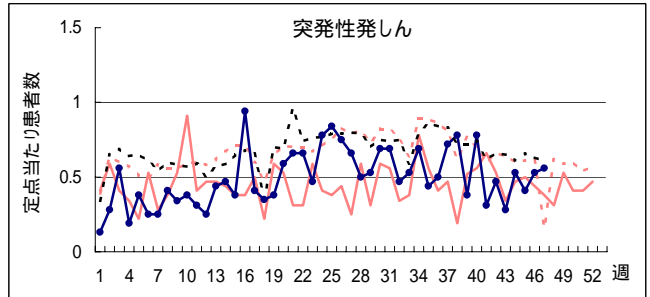
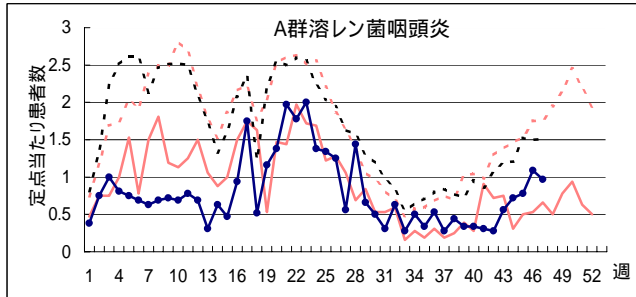
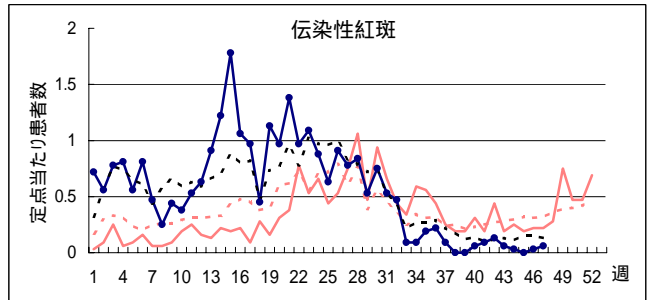
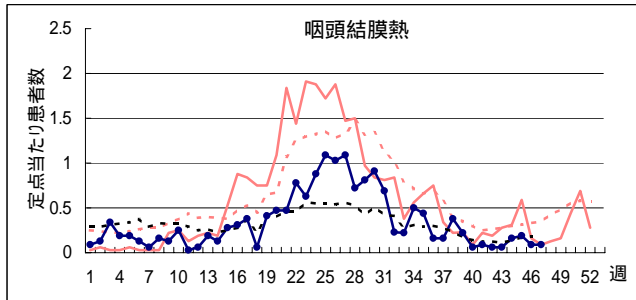
- インフルエンザ-----県全体では先週よりかなり増加し、東近江および長浜以外から報告されています。特に、大津、甲賀および高島からの報告が多くなっています。
- A群溶レン菌咽頭炎-----先週急増した大津では減少していますが、長浜では先週よりさらに増加しています。
- 感染性胃腸炎-----県全体としては先週とほぼ同じです。先週多かった彦根および長浜では減少し、甲賀および東近江ではさらに増加し多い状態が続いています。草津および高島も先週より多くなっています。
- 水痘-----長浜で先週よりかなり多くなっています。また、甲賀では先週より少なくなっていますが、定点当たり患者数は2.50と多い状態が続いています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第47週、H19.1.1～H19.11.25)



H18 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第47週、H19.1.1～H19.11.25)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

